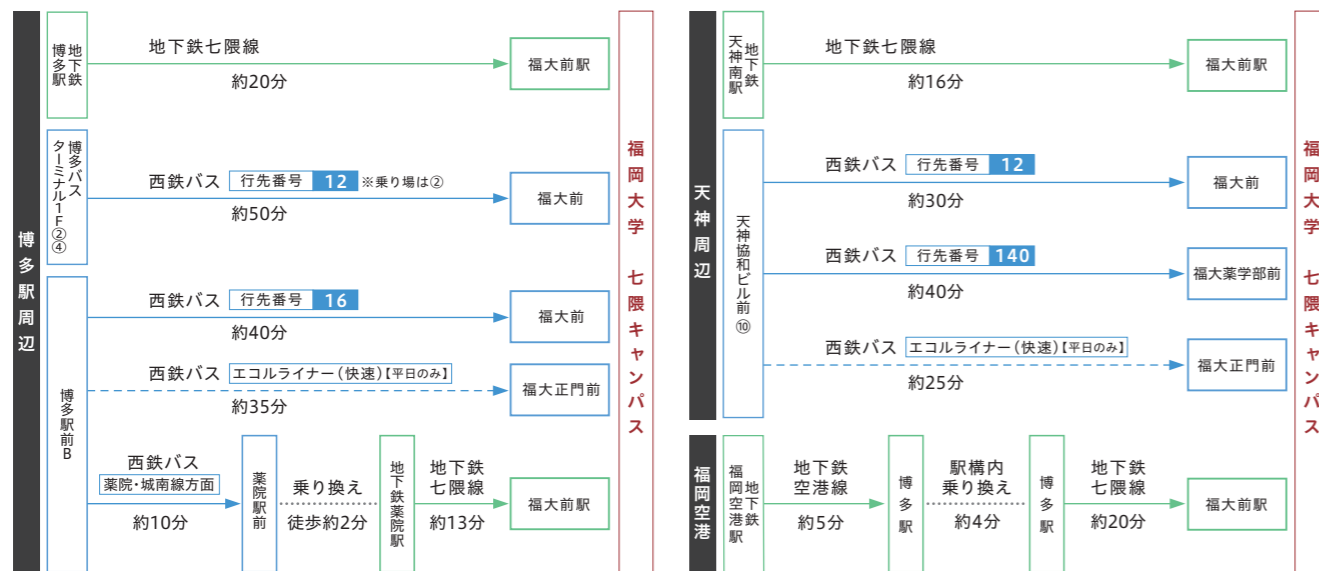


福岡大学アクセスマップ



交通案内



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。
 ※バスの行先番号が同じでも行先が異なる場合がありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。
 ※公共交通機関の運行状況に変更が生じる場合があります。最新の情報については、以下ウェブサイト等からご確認ください。
 ●地下鉄に関する情報……福岡市交通局 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/>
 ●バスに関する情報……西鉄バス <http://www.nishitetsu.jp/bus/>

【高速道路】

唐津方面からの場合
 西九州自動車道(福岡前原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。

北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合
 九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。

Faculty of Pharmaceutical Sciences



福岡大学 薬学部

■ 薬 学 科





人の命に関わるという責任。
薬を管理・説明し、薬の相談に乗る。



コロナ禍以前に撮影した写真や撮影時のみマスクを外した写真を含んでいます。

薬学部からのお知らせ

「クリニカル・ファーマシスト専修プログラム がん薬物治療学コース」を2024年度から新設予定。

- がん薬物療法に関する実践的な知識を有した、薬剤師免許取得後早期に活躍できる臨床薬剤師の養成を目指すコースを学科内に設置します。
- このコースでは薬学科で通常履修する科目以外にも医療現場に則した特徴的な科目を開講し、コース修了生の中からがん分野の専門・認定薬剤師を数多く輩出することを目標としています。

※本コースを修了しても、専門・認定薬剤師になるには一定期間の実務経験が必要です。

Responsibility

Message | 学部長メッセージ

充実したカリキュラムと教育・研究施設。
薬を管理・説明し、相談に乗れる
「共感力」をもった薬学のスペシャリストへ。



薬学部長 三島 健一 MISHIMA Kenichi

福岡大学薬学部の魅力は、充実した学びの環境があることです。その魅力の一つ目は、多様な学び方ができるカリキュラムと充実した教育・研究施設です。豊富な共通教育科目や体系的な専門教育科目と実習を通して、医療の担い手として必要な知識や技術はもちろん、心構えもしっかり身に付けます。二つ目は、少人数教育です。本学部では担任制を導入し、入学から卒業まで個別にきめ細かく指導しています。さらに、学修面での相談に専門的に対応する薬学教育支援センターも設けています。4年次からは、研究室に所属して卒業論文のための先端研究に取り組み、判断力や問題解決能力を向上させます。三つ目は、チーム医療に必要な連携教育です。1年次のうちに「早期臨床体験」として病院と薬局を見学する他、医学部、スポーツ科学部、他学部と連携した多職種連携

協働学習を共通教育科目として開講しているため、多様な考え方や価値観をもった人たちの存在を理解し、「多様性」と「協働性」を学ぶことができます。また、大学病院で薬剤部長を務める教員、がんや感染症領域の専門薬剤師を取得している教員、医師免許を有した教員もおり、最先端の医療現場を意識した講義を受けられます。このような充実した学びの環境があることから、高い進級率、高い薬剤師国家試験合格者を誇ります。これまでに輩出した薬学部の卒業生は1万人を超え、薬剤師や教育・研究者として、人々の健康や医療・科学技術の発展に貢献しています。恵まれた環境を生かして自らの資質を最大限に高め、人に寄り添える「共感力」を持った薬剤師や医療人として社会に羽ばたきませんか。

Contents | 目次

学部長メッセージ	01	資格・就職先	09
薬学科紹介	02	Q&A	10
カリキュラムの特色	04	大学院 薬学研究科	12
研究室・附属施設	06	入学者選抜概要	13
学修支援	08		

基礎から臨床まで バランスのとれた薬学教育

低学年次に基礎的な科目を、高学年次に専門性の高い科目を配置し、薬学教育の三つの要素である基礎・創薬科学、医療・臨床薬学、衛生薬学を学びます。

充実した施設での 実務実習事前学習や 薬学共用試験の実施

薬学部棟17号館で実務実習事前学習や薬学共用試験を行います。

大学病院、薬剤師会との 連携による実務実習で チーム医療を体感

三つの附属病院のうち、本学部では、福岡大学病院・福岡大学筑紫病院での実務実習があります。大学近くには福岡市薬剤師会薬局もあり、チーム医療を体感できる環境が充実しています。現場の薬剤師が薬学部教員であり、臨床現場に即した教育が実施されています。

薬学の先端的研究に 触れるとともに 人間性を育成

卒業研究では、所属する研究室において薬学関連の先端的研究に触れるとともに、少人数ごとに教員と接することで、医療人としての人間性を育成します。

充実した卒後教育

卒後教育として、卒業生等を対象とした年2回の公開講座を開講しています。

Three Policies | 三つのポリシー

人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー (AP) (入学受け入れの方針)
- カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)
- ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) を指します。

薬学部の詳細は以下のQRコードから(公式サイト)

▼ AP



▼ CP



▼ DP



薬学科

基礎的・臨床的な先端医療研究を
土台とする6年制薬学教育。
医療人として、社会から
真に信頼される薬剤師となるために。

医療技術の高度化や創薬につながる科学の進歩、医薬分業の進展などを背景に、薬剤師が担う使命は大きくなり続けています。

これらを踏まえ本学薬学科では、「医薬品の開発や安全使用に関する基礎的・臨床的先端研究の推進をもって、国民の健康と福祉に貢献すること」を理念とする6年制薬学教育を実施しており、次のような人たちの入学を求めています。

福岡大学 薬学部 Webサイト >



求める人材像 (求める能力)

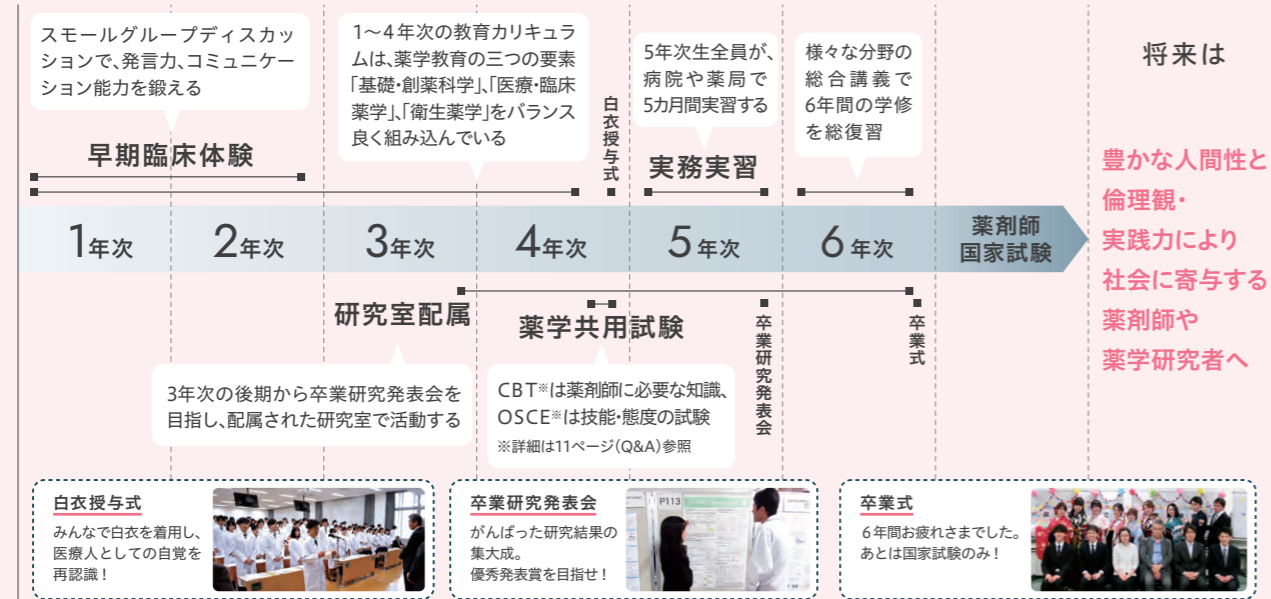
A 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、探究心旺盛で科学に関する素養を有する人
B 技能	患者ならびに医師をはじめとする医療関係者と適切に連携できるコミュニケーション能力を備えている人
C 態度・志向性	思いやり、倫理観、使命感そして強い責任感を備えている人
D その他の能力・資質	医療業界のグローバル化に対応するため英語の資格を取得した人やスポーツや生活習慣を通じて、心身の健康維持・増進を目指す姿勢を持っている人

求める人材像 (求める能力) の詳細は



薬学科での6年間

“福岡大学薬学部は『6年制薬学科』”



Power of Us 福岡大学薬学部の成果

薬剤師国家試験合格率 **91%**

福岡大学薬学部における薬剤師国家試験の合格率です(過去5年間の新卒者合格率の平均)。国家試験は年々難化していると言われていますが、安定した高い合格率を保っています。毎年200人以上の合格者を輩出しているのは、九州では福岡大学だけです。

就職率 **100%**

福岡大学薬学部において薬剤師国家試験に合格した学生の就職率です(過去5年間の平均)。福岡大学薬学部は、これまでに1万人以上の卒業生を輩出しています。同窓生の結束が固く、就職後も各業界で活躍している先輩方による手厚いサポートが受けられます。

ストレート卒業率 **78%**

福岡大学薬学部に入ってから6年次まで、留年せずにストレートで卒業できた学生の割合です(2022年度)。九州の私立大学薬学部中ではトップの値であり、全国的にも上位に位置しています。福岡大学薬学部の質の高い教育力の証です。

卒業生に対する福岡大学薬学部に対する満足度 **98%**

卒業生に対するアンケートの結果、“福岡大学薬学部に進学してよかった”と回答した卒業生の割合です(2022年度: 186人回答)。アンケート実施以来、90%を下回ったことはありません。学生の高い満足度は、薬学部全職員の誉れです。

在学生の声

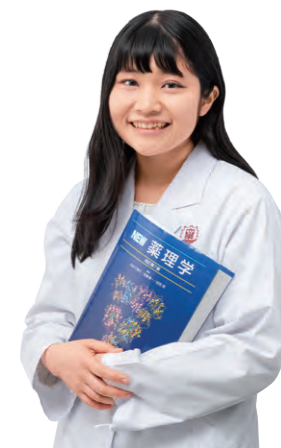
低学年次からの実習や研究室の活動で高い研究能力を養い、薬剤師を目指す。

Q1 この学科の魅力は？

薬剤師国家試験に向けた学修はもちろん、実習や研究室での活動を通して研究能力を養えます。低学年次は、実験結果に対して確実性の高い推論が組み立てられるまで文献調査や考察を重ねました。研究室に所属すると、自らの立てた推論で周囲と話し合う中で、思考力や情報処理能力、課題解決能力を伸ばすことができていると感じます。

Q2 好きな授業は？

「機能形態学Ⅱ」は、各臓器の構造や働きを学ぶ科目であり、人体を学ぶ基礎ともいえます。基礎的な内容から始まり、薬理学や生化学など他の科目にも発展するので、科目横断的な視点を学べた点でも興味深く感じました。また、先生が作成された資料が大変分かりやすく、分からないことがあればまずこの資料を見返しています。



真崎 有祐子さん

薬学部 薬学科 5年次生
福岡県 小倉高校出身

※2022年取材時の情報です。

🕒 時間割 [2年次前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		食品栄養学	人体生化学Ⅰ	機能形態学Ⅱ	
10:40	インターメディアイト・イングリッシュⅢ	生薬学Ⅰ	分析化学Ⅰ	薬学物理化学Ⅰ	インターメディアイト・イングリッシュⅠ
13:00	同位体化学				有機薬化学Ⅲ
14:40	微生物学		生物系実習Ⅰ	早期臨床体験Ⅱ	
16:20					

その他カリキュラムの詳細は >



卒業生の声

実務実習や基礎研究での経験が医療貢献を志すMR職の礎となった。

MR職(医薬情報担当者)は、医薬品の情報で医療従事者をつなぐ仕事です。医師や薬剤師、看護師、理学療法士、医療事務など、高度な知識・スキルを持つ医療従事者と接し、専門性を高めながら医療に貢献できる点が仕事の醍醐味だと言えます。

信頼される医療パートナーとなることを目標に業務に励む中で、重要なのは「相手の立場で考えること」です。学生時代に経験した実務実習では、薬剤師の職務や研究内容に触れ、病院や薬局で医療従事者がどのように患者さんに接するかを知ることができました。この時の経験が、医療貢献を志す今の私の礎となりました。また、在学中は「HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス)」の基礎研究に従事しました。課題を発見・分析し、チームで解決方法

を模索してトライ&エラーを繰り返すといった活動が、「答えのない課題」に直面する日々の業務にも大いに生かされています。



山内 省吾さん (2018年卒業)

第一三共株式会社 日本事業ユニット 営業本部
九州支店エリア統括第一部 福岡第二営業所

※2022年取材時の情報です。

カリキュラムの特色

科目の詳細は >



授業科目は、共通教育科目と専門教育科目に分かれています。共通教育科目はさらに、総合教養科目(人文科学、社会科学、自然科学、総合系列科目、学修基盤科目)、外国語科目、保健体育科目に分けられています。専門教育科目は各年次科目に分けられています。

共通教育科目

総合教養科目

総合大学の長をを活かして、優れた人間性と倫理観を磨く教育を実践しています。総合教養科目は5群(人文科学22科目、社会科学17科目、自然科学4科目、総合系列科目1科目、学修基盤科目4科目)と豊富な科目と内容で編成され、学部の枠を超えて他学部学生と同一教室で受講することで、幅広い人間性の育成を図っています。2022年度から学修基盤科目に新しい科目「データサイエンス・AI入門」が設置されました。この科目は、さまざまな社会活動においてデータに基づく意思決定が求められる現在、数理的思考力やデータ分析能力をもつ人材、さらには人工知能(AI)を活用できる人材の育成を目的としています。

総合教養科目は、選択科目です。

外国語科目

語学(第1、第2外国語共)の授業に関しては、少人数制(1クラス約40人)を採用しています。第1外国語(英語)については、1年次のフレッシュマン・イングリッシュⅠ～Ⅳである「インタラクティブ英語」、「検定対策英語」及び「リーディング&リスニング」の3種類のクラス、2年次のインターメディアイト・イングリッシュⅠ～Ⅳである「リーディング&ライティング」、「検定対策英語」、「CALL & オーラル・コミュニケーション」及び「グローバル・イングリッシュ」の4種類のクラスが開講され、複数の目的別クラス編成を行っています。

第2外国語科目は選択科目にしています。

保健体育科目

スポーツを楽しむ態度を身につけ、生涯にわたって心身共に健康でQOL(Quality of Life)を高めていくために設置しています。

共通教育科目	人文科学	哲学A、哲学B、論理学A、論理学B、倫理学A、倫理学B、宗教学A、宗教学B、日本史A、日本史B、東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、日本文学A、日本文学B、アジアの文学A、アジアの文学B、西洋文学A、西洋文学B、芸術A、芸術B
	社会科学	法学A、法学B、政治学A、政治学B、日本国憲法、経済学A、経済学B、商学A、商学B、社会学A、社会学B、地理学A、地理学B、心理学A、心理学B、文化人類学A、文化人類学B
	自然科学	統計入門、物理の世界、化学実験、生物学実験
	総合系列科目	福岡大学で考える現代社会(多職種連携で支える人生100年時代)
	学修基盤科目	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか、データサイエンス・AI入門、アカデミックスキルズゼミⅠ、アカデミックスキルズゼミⅡ
外国語科目	第1外国語	英語(フレッシュマン・イングリッシュⅠ～Ⅳ、インターメディアイト・イングリッシュⅠ～Ⅳ、海外英語研修、アドバンストイングリッシュ)
	第2外国語	ドイツ語Ⅰ～Ⅱ、フランス語Ⅰ～Ⅱ、中国語Ⅰ～Ⅱ、ロシア語Ⅰ～Ⅱ、スペイン語Ⅰ～Ⅱ、朝鮮語Ⅰ～Ⅱ
保健体育科目	生涯スポーツ演習Ⅰ～Ⅳ、生涯スポーツ論	

専門教育科目

共通教育科目の履修と並行して専門教育科目をも履修する、いわゆる“くさび型”カリキュラムを採用しています。特に、1年次に配置する「薬学概論」は薬学・医療を巡る環境の理解とモチベーションを高めるような講義を行い、薬学・医療に対する明確な目的意識の醸成を図っています。また、薬剤師を取り巻く環境を理解し、将来医療の担い手となる自覚を持たせるために、夏季休暇期間に「早期臨床体験Ⅰ」の中で病院及び薬局見学を実施しています。

専門教育科目は各年次科目に分かれ、低学年次に基礎的な科目を、高学年次に専門性の高い科目を配置しています。調和のとれた体系的カリキュラムの編成をしており、薬学教育の3つの要素である「基礎・創薬科学」「医療・臨床薬学」「衛生薬学」をバランスよく組み込んでいます。

専門教育科目	1年次科目	選択科目	物理分野	薬学物理学入門	薬学計算法		
		化学分野	薬学化学入門 天然医薬資源学	化学	有機薬化学Ⅰ	有機薬化学Ⅱ	
		生物分野	薬学生物学入門	機能形態学Ⅰ	生体機能分子学Ⅰ	生体機能分子学Ⅱ	
		総合分野	薬学概論	早期臨床体験Ⅰ			
	2年次科目	必修科目	物理系実習Ⅰ	生物系実習Ⅰ	生物系実習Ⅱ	早期臨床体験Ⅱ	
		選択科目	物理分野	薬学物理化学Ⅰ	薬学物理化学Ⅱ	分析化学Ⅰ	分析化学Ⅱ
		化学分野	生薬学Ⅰ	生薬学Ⅱ	有機薬化学Ⅲ	有機薬化学Ⅳ	
		生物分野	人体生化学Ⅰ	人体生化学Ⅱ	微生物学	免疫学	
		衛生分野	食品栄養学	食品衛生学			
		薬理分野	機能形態学Ⅱ	疾患薬理学Ⅰ			
	3年次科目	必修科目	物理系実習Ⅱ	化学系実習Ⅲ	生物系実習Ⅲ	化学系実習Ⅳ	化学系実習Ⅱ
		選択科目	物理分野	薬学物理化学Ⅲ	薬学物理化学Ⅳ	日本薬局方Ⅰ	日本薬局方Ⅱ
		化学分野	天然物化学	創薬化学Ⅰ	創薬化学Ⅱ		
		生物分野	感染症治療薬概論	人体機能調節学			
		衛生分野	環境衛生学Ⅰ	公衆衛生学			
		薬理分野	疾患薬理学Ⅱ	疾患薬理学Ⅲ	病態・薬物治療学Ⅰ	病態・薬物治療学Ⅱ	
		薬剤分野	物理薬剤学	製剤学	薬物動態理論	臨床薬物動態解析学	
		実務分野	医薬品安全性学	医療情報学			
	4年次科目	必修科目	物理系薬学特別講義	化学系薬学特別講義	生物系薬学特別講義	衛生薬学特別講義	
		選択科目	化学分野	漢方薬学概論	創薬化学Ⅲ		
		生物分野	遺伝子工学概論	臨床検査学			
		衛生分野	環境衛生学Ⅱ				
		薬理分野	病態・薬物治療学Ⅲ	病態・薬物治療学Ⅳ	疾患薬理学Ⅳ		
		薬剤分野	薬物送達学	臨床薬物動態学	薬学健康管理学	薬学疾患管理学	
5年次科目	必修科目	実務実習	薬学研究Ⅰ				
6年次科目	必修科目	物理系薬学総合講義	化学系薬学総合講義	生物系薬学総合講義	衛生薬学総合講義		
	選択科目	薬剤分野	薬科処方解析学				
	実務分野	実務実習事後学習					
	アドバンスト分野	臨床診療科概論	薬剤師職能論	今日の薬学研究	薬学特別研究		

研究室・附属施設

薬学部では3年次後期から研究室配属となり、卒業研究を進めることになります。特色ある研究室と附属施設を紹介します。

受験生のためのライブラリー
FUKUTANA

マークの付いている研究室は、「受験生のためのライブラリー“FUKUTANA”」で研究や担当講義の内容を動画として公開中。

FUKUTANA
TOP



FUKUTANA
薬学部



化学系

■ 薬化学研究室

現代医療で使用されている医薬品の多くは有機化合物であり、新しく合成された化合物です。薬化学研究室では、特徴ある構造と生物活性を有する化合物の分子設計および合成に関する研究を目的とした有機合成化学の基礎的研究を行っています。すなわち、炭素、窒素、酸素など少なくとも2種類の異なる元素を含む環状化合物であるヘテロ環化合物の新規合成、また、それら合成化合物の悪性腫瘍や真菌に対する増殖抑制効果などの生物学的評価を行い、創薬を指向したリード化合物の創製に関する研究を進めています。

物理学系

■ 薬品分析学研究室

分析化学は、化学系、生物系、医療系を含む全ての薬学領域における「緑の下の力持ち」的な学問とされています。どのような計測機器を用いても、測定値(分析結果)が正しくなければ、新しい薬物を創り出すことはおろか、既存の医薬品を有効に活用することもできません。私たちは、生体成分や医薬品、環境汚染物質などをできるだけ簡単に、そして正確に分析するための方法論を開発することで、薬学・医療の向上のために寄与しています。

生物学・衛生学系

■ 生化学研究室

遺伝情報発現制御の実行プログラムを理解することは、さまざまな生命現象の分子メカニズムを解明するために必要です。特に転写活性化・不活性化のperformerである転写調節因子群の機能は、発生・分化、内分泌、脳機能などの高次生命現象のみならず、がん、生活習慣病などの病態にも関わってきます。本研究室では、このような概念を根幹に据えて、組織あるいは時期特異的に転写活性を制御する因子、シグナル伝達分子の作用メカニズムなどに関する研究を行っています。

薬理学系

■ 臨床疾患薬理学研究室

本研究室は、医療に直結した創薬と臨床薬剤師養成を目指しています。認知症やうつ病などの精神疾患の漢方治療の薬理学的エビデンスの構築「漢方を科学する」を目指して、行動薬理学を基盤に生理学的、分子生物学的手法を積極的に取り入れて研究を行っています。さらにはiPS細胞を駆使した難治性疾患の発症機序研究、グリア創薬を目指した研究を行っています。

■ 免疫・分子治療学研究室

臨床の現場で活躍する薬剤師には、患者さんの治療に向けて医師、看護師やコメディカルと強く連携することが求められます。そこで、本研究室では感染症やがんなどの基礎研究を通じて疾患の病態の理解力を養うとともに、実験立案や結果報告を経験することでプレゼンテーション能力や討論力を育成します。また研究室内での日常生活を介して積極的で責任感のある人間形成を目指しています。

■ 医薬品化学研究室

私たちの研究室では、触媒反応開発、機能性化合物創出、創薬という3つの研究テーマに取り組んでいます。有機化学を基盤として、触媒反応開発研究では有機金属触媒反応や配位子設計などを、機能性化合物創出研究では包接化合物や多環性複素環化合物の合成などを、創薬研究では抗菌、抗ウイルス、および抗腫瘍候補化合物の探索などを行っています。配属学生と共に化学構造式と向き合いながら日々研究を行っています。

■ 薬品物理化学研究室

薬を服用してから効果が表れるまでには、薬と私たちの体との間でさまざまな反応が起こります。その反応を詳しく調べることで、より良い効果を示す薬や副作用の少ない薬を開発することができます。本研究室では、薬に関して医療や介護の現場で問題となっていることを解決するために実験ならびにコンピュータによる分子シミュレーションを行っています。

■ 衛生化学研究室

衛生化学は、さまざまな病気や有害化学物質などから「生(健康)」を「衛」するための学問です。私たちの研究室ではこのことを念頭に、生活習慣病の発症メカニズムを遺伝子レベルで明確にするために研究しています。これらの研究で生活習慣病の発症や悪化に関連している遺伝子・タンパクを見つければ、それらを創薬研究に役立てることで人々の健康な生活を「衛」りたいと考えています。

■ 生体機能制御学研究室

本研究室は、大麻の有害作用と医療応用、抗癌剤の副作用、新生児および成人の脳血管障害、蛋白質ミスフォールディング病について行動薬理学、神経科学、分子生物学的手法を用いて、病態の解明および創薬開発に向けた研究を行っています。研究は、問題解決能力、判断力、自立力を高めるための方法として最適です。研究課題を通して、新しい発見に挑み、研究の分かる薬剤師を目指しませんか。

■ 臨床薬物治療学研究室

多くの研究努力の結果生まれた「薬」は、患者さんが服用してはじめてその役割を果たします。それは「医療者」と「患者さん」という、人と人とのコミュニケーションの中で実現します。そしてこの段階で大きな役割を果たすのが「薬剤師」です。本研究室は、この臨床的場面をさらに優れたものにするを研究の目的としています。

■ 生薬学研究室

医学が「治療」から「予防」へと転換期を迎えつつある現在、天然薬物への関心が高まりつつあります。また新薬開発の先導(リード)化合物としての価値も増えています。天然薬物の中心は植物成分(フィトケミカル)ですので、生薬学研究室では、古来、受け継いできた自然からの恩恵に対し、主に植物化学的、細胞薬理学的側面からアプローチすることを目的として研究を進めています。

■ 機器分析学研究室

病気を見つけるためにはどうすればよいのでしょうか?医療の現場では、適切な治療を行うため、正確な診断を行うことが求められます。私たちの研究室では、その診断を行う、あるいはそれを行うための方法や技術を考案したり、開発したりすることを目的とした研究を行っています。実際には、方法論の開発という基礎的な研究内容が多い場合がありますが、それに留まることなく、開発した方法を臨床的に応用させるなど、薬学や医療分野に常に貢献できることを目指して研究を行っています。

■ 微生物薬品化学研究室

エイズ・マラリア・結核をはじめとする多くの感染症の克服は、21世紀に持ち越された医学・薬学の重要な課題です。感染症の予防・治療を目的とした新たな手段と戦略の開発が必要とされています。私たちは、近年進歩の著しい分子生物学手法を用いたアプローチによって、新たな微生物の機能を理解し、創薬による感染症克服へ向けて、日々研究を行っています。

薬剤学系

■ 応用薬剤学研究室

安心で安全な薬物治療を行うためには副作用を未然に防ぐことが必要です。本研究室では、副作用が起こりやすい病態を明らかにし、その「発現しやすさ」を予測できる個体情報を見つける目的で基礎研究を行っています。特に、脳に関連した病態と副作用や薬物の脳移行性などに関する医療薬理的な研究に取り組んでいます。これらの研究成果は、副作用の予防や回避に役立ちます。

■ 薬物送達学研究室

薬物を①必要な部位に、②必要な量を、③必要な時間だけ送り届けられることができれば、薬物による治療効果を最大限に発揮でき、薬の副作用を最小化することができます。このように薬物による治療効果を最適化するための「工夫(手法)」がDDS(Drug Delivery System, 薬物送達システム)です。薬物送達学研究室では、臓器、細胞およびオルガネラへのターゲティング(標的指向化)や薬物およびプロドラッグ(化学構造を変換した薬物)のDDS技術を用いて新しい薬の開発を行っています。

臨床薬学系

■ 救急・災害医療薬学研究室

救急・集中治療を要する重篤病態の患者さんのケアにおいて適切に医薬品を使用することは、その予後に大きく関わります。また、大規模災害にて全ての被災者に医薬品を届けたり、避難所の環境衛生を整えたりするためには、薬事の専門家が現場に必要です。私たちは、救急医療や災害医療の現場で、抗生物質の適正使用、災害時医薬品概況報告システムに関する研究を行っています。

■ 腫瘍・感染症薬学研究室

がんは、あらゆる疾患の中でも最も死亡率が高く、長年日本人の死因第1位を占めています。また新型コロナウイルス感染症の猛威により、あらためてメディカルスタッフの感染制御に関する高度な知識や技術、実践能力の必要性が認識されています。私たちは、医療現場における薬剤師のがん患者マネジメント、また抗がん薬および抗菌薬、薬物有害事象に対して使用される支持療法薬の適正使用に関する研究を行っています。

附属施設

■ 実務実習支援室

薬学部実務実習支援室は、実務実習受け入れ施設との連絡や手続きなどを行う薬学部の窓口です。充実した薬局・病院実習を円滑に行うことができるよう、担当教員が関連諸事につき学生の相談に乗っています。

■ 薬草園

薬用植物園(薬草園)は文字通り薬草を中心に栽培した植物園ですが、実際はおなじみの植物、例えば、シャクヤクやアズキも薬草の一つなので、普通の植物園と見かけは変わらないかもしれません。でも、注意深く植物の名札を見ると、薬用部位や効能が書いてあります。予約すれば見学も可能であり、一般の方々にもなじみやすい大学の施設だと思います。



学修支援

薬学教育支援センター

近年の薬剤師国家試験は、大学で学んだ知識だけでなく、臨床現場で応用できる力が重視されています。このため、従来のような直前の試験対策だけでは不十分であり、低学年からの学習習慣の確立や基礎学力の習熟が重要です。福岡大学薬学部内に設置された「薬学教育支援センター」では、学部学生の学修活動を全面的にサポートし、学びの力が身に付くように各科目の質問や学修相談に応じています。高校時代とは異なる学修に戸惑いを感じ、学修のやり方や成績に不安がある時は、「薬学教育支援センター」を是非利用してください。学修支援スタッフが、学生個々の学修の習熟度や理解度に応じた適切な指導・サポートを行います。



対象学年	主な学修支援の内容	
1年次	学修Q&Aの作成	リメディアル教育(高校理科の補完教育)
2年次	補習授業・学修指導	グループ学修会
3年次		
4年次	薬学共用試験CBT対策(講義・学修指導)	薬学共用試験CBT不合格者への学修指導
5年次	最新医療情報の配信	
6年次	薬剤師国家試験対策(講義・学修指導)	

薬剤師国家試験に対して高い合格率を維持するため、国家試験と同様の試験を「卒業試験」という形式で実施しています。学生の学力アップのため、国家試験対策集中セミナーと薬剤師国家試験の模擬試験を実施しています。さらに成績不振の学生には、特別学習による国家試験対策の勉強を義務づけています。

奨学制度

福岡大学特待生制度 [対象年次: 学部2年次以上]

学業成績ならびに日々の行いが特に優秀な学生を「特待生」として表彰する制度です。特待生には奨学金(30万円)が授与されます。全学部から約200人が選ばれます。

日本学生支援機構及び福岡大学独自の奨学制度

詳細は、大学案内でご確認ください。

薬学生向けの奨学制度

- ▶ **新・佐賀県薬剤師会 薬剤師奨学金制度**
5年次生・6年次生並びに卒業前2年以内の大学院生に対し、月額10万円貸与薬剤師国家試験合格後、佐賀県内の指定薬局で「貸与年数×1.5倍」の期間就業することにより返還免除されます。
<http://www.sagayaku.or.jp/s-syougakukin>
- ▶ **永富薬学奨学財団**
大分県出身者で、日本国内の薬学部で在学する5年次生あるいは6年次生:5年次生月額5万円、6年次生月額10万円貸与薬剤師国家試験合格後、大分県内所在の薬局に3年間勤務することにより返還免除されます。
<https://nagatomi-zaidan.or.jp/>

他にも、地方自治体、民間育英団体、医療施設等が実施している多数の奨学制度があります。福岡大学薬学部ウェブサイトの奨学金情報ページよりお問い合わせください。

福岡大学薬学部ウェブサイトの奨学金情報ページ
<https://www.pha.fukuoka-u.ac.jp/scholarship>



※上記全ての奨学制度の詳細は、2023年4月現在の内容であり、変更となる場合があります。

資格・就職先

資格一覧

取得できる資格

薬剤師国家試験受験資格

薬剤師でなければならない業務

- 医師・歯科医師の処方箋による薬の調剤
- 薬局の管理者
- 医薬品製造業(輸入販売)の管理者
- 保険薬剤師
- 学校薬剤師

薬剤師であればその資格取得に特別の考慮が払われるもの

- 医薬情報担当者(MR)
- 作業環境測定士
- 公害防止管理者
- 環境計量士
- 労働衛生コンサルタント

薬剤師であれば取得できる主な資格(業務)

- 医薬部外品、化粧品または医療用具の製造(輸入販売)所の責任技術者
- 医療機器の営業管理者
- 向精神薬取扱責任者
- 毒物劇物取扱責任者
- 薬事監視員
- 麻薬管理者
- 麻薬取締官
- 食品衛生管理者、食品衛生監視員
- 環境衛生指導員
- 検疫委員
- 衛生管理者
- 臨床検査技師

進路・就職について

本学部が設立されて60年、今までに1万人を超える優秀な人材を世に送り出してきました。その活躍の場は、病院、薬局、製薬業界あるいは薬務行政に携わる公務員等多方面にわたり、指導的立場にある卒業生も数多くいます。また、大学等の教育機関にあって、若い人材の育成と研究活動に邁進している先輩も少なくありません。より高度な専門的知識の修得と研究を目指して、学部卒業後、大学院へ進学することもできます(12ページ参照)。

サポート体制

▶ インターンシップ

在学生が、夏季・春季休暇中などに、病院・薬局・企業等において研修形式の就業体験を行うことで、学内で修得した技能および知識を確認しながら薬剤師の職能を理解し、自分自身の職業適性を見極められるようサポートしています。

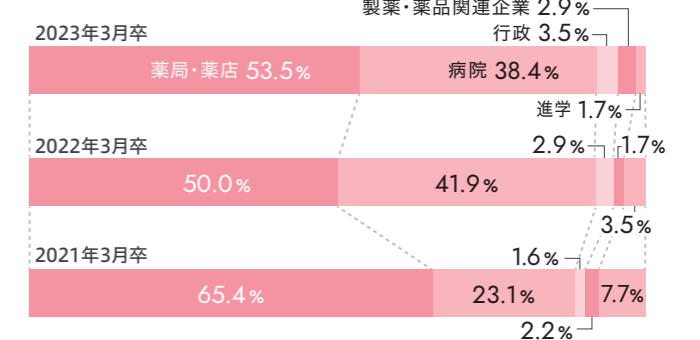
▶ 進路ガイダンス

大学院進学・就職に対する基本的な活動方法、就職試験で大きなウエイトを占める面接試験突破のための「模擬面接会」や「対策講座」、さまざまな職種で活躍している本学部卒業生を講師に招いての「業界別説明会」や「先輩と語る」、病院・薬局・企業・行政など約100事業所による「合同就職説明会」などを行い、在学生の進路実現に向けてサポートしています。

▶ 個人面談(ヒアリング)

一人一人の進学や就職活動に関するさまざまな疑問、悩みや不安を解消し、よりスムーズに卒業後の進路を決定できるように、アドバイスを行っています。

[直近3年間の就職状況]



[主な就職先・進学先]

薬局	病院	企業
<ul style="list-style-type: none"> ● 日本調剤㈱ ● ㈱アインファーマシーズ ● 総合メディカル㈱ ● ㈱大賀薬局 ● ㈱街野間薬局 ● クオール㈱ ● ㈱新生堂薬局 ● ㈱メディカルシステムネットワーク ● ㈱ツキヨ・ココカラ&カンパニー ● ㈱ワタナベ ● ㈱タカラ薬局 ● ㈱サンドラッグ ● ㈱大信薬局 ● タケシタ調剤薬局㈱ ● ㈱ミズ ● セイコーメディカルブレン㈱ ● ㈱ソルハグループドラッグ ● ㈱いちのみや薬局 ● アポクリート㈱ ● ㈱八幡西調剤薬局 ● I&H㈱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国立病院機構 ● 雪の聖母会 聖マリア病院 ● 福岡和白病院 ● 北九州市立病院機構 ● 長崎大学病院 ● ㈱麻生 ● 九州大学病院 ● 南風病院 ● 健和会 ● 福岡大学筑紫病院 ● 福岡大学病院 ● 地域医療機能推進機構 ● 大分市医師会 ● 原三信病院 ● 九州労災病院 ● 長崎県島原病院 ● 大牟田市立病院 ● 佐賀県医療センター好生館 ● 恩賜財団済生会 ● 福岡青洲会病院 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第一三共㈱ ● 日本イーライリリー㈱ ● 大塚製薬㈱ ● 小野薬品工業㈱ ● エーザイ㈱ ● アステラス製薬㈱ ● シミック㈱
		行政
		<ul style="list-style-type: none"> ● 福岡県庁 ● 大分県庁 ● 鹿児島県庁 ● 佐賀県庁 ● 広島県庁 ● 熊本県庁 ● 沖縄県庁
		大学院
		<ul style="list-style-type: none"> ● 福岡大学 ● 九州大学 ● 大分大学 ● 順天堂大学

Q&A



“薬学部”の仕組みについて

Q 薬学部の修業年限について教えてください。

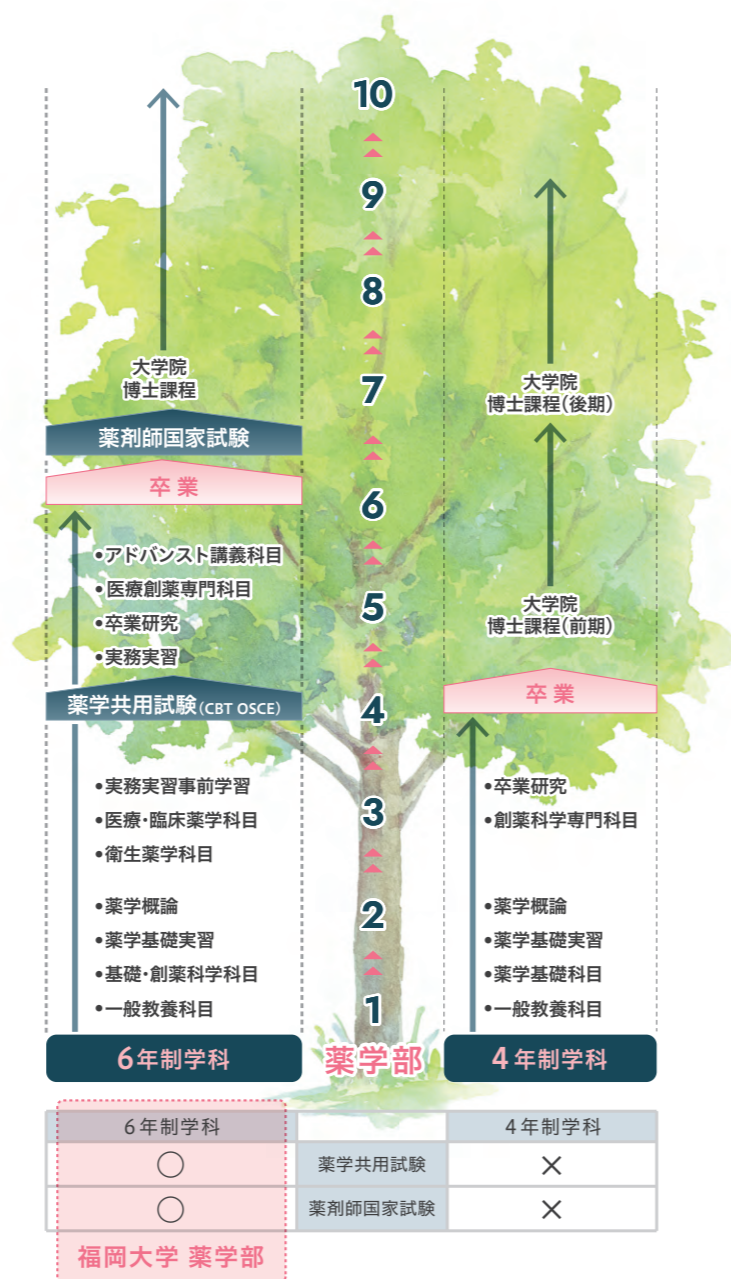
A 薬学部には、学部6年制と学部4年制の二つの修業年限の課程があります。高度化する医療や医薬分業の進展に伴い、さらに高い能力の薬剤師を養成するために2006年度から薬学教育6年制課程が始まりました。

大学卒業後にさらなる研究・教育を希望すれば大学院進学の道も存在しますが、6年制薬学部と4年制薬学部では大学院の修業年限も異なります。6年制薬学部では、学部卒業後の博士課程の標準修業年限は4年間です。一方、4年制薬学部では、学部卒業後に2年間の博士課程(前期)があり、その後3年間の博士課程(後期)が設けられています。

Q 薬学部の6年制課程と4年制課程の違いを教えてください。

A 最も顕著な違いは、薬剤師国家試験受験資格の有無です。大学卒業時に薬剤師国家試験の受験資格を得られるのは6年制課程の薬学部だけです。4年制課程の薬学部では、大学院に進学して合計6年間(あるいは9年間)の課程を修了しても、薬剤師国家試験の受験資格は得られません。

なお、薬学部の6年制課程は「薬学科」の名称のものが多く、4年制課程は「薬科学科」や「創薬科学科」などの名称が付けられています。「薬学科」以外の名称の場合、6年制課程か4年制課程か、つまり薬剤師国家試験の受験資格を得られるのか得られないのかを見誤らないように注意が必要です。また大学によっては、入学時に薬学部の6年制課程と4年制課程とを一括募集した上で、入学後に各課程(学科)に分けるところもあるので、受験時には気を付けましょう。詳細は、各大学薬学部のウェブサイト等で確認してください。ちなみに福岡大学薬学部は6年制の薬学科のみなので、入学後に学科が替わることもなく、卒業生には全員、薬剤師国家試験の受験資格が与えられます。



福岡大学薬学部について

Q 高校で生物(物理)を勉強していなくても、大丈夫でしょうか？
高校の理科にあまり自信がなくても、授業についていけますか？

A 大きな問題ではありません。一年次前期に、高校理科と薬学部専門科目との橋渡しの学問である「薬学物理学入門」「薬学化学入門」「薬学生物学入門」を開講しています。また、薬学教育支援センター(08ページ)では物理と生物のリメディアル教育を行い、高校理科についての不安を解消してもらうための一助となっています。

高校レベルの物理・化学・生物については、入学選抜試験合格者を対象に大学入学前教育も実施しています。

Q 薬学部では卒業までたどりつのが大変だと聞きましたが、本当でしょうか？

A そんなことはありません。毎年多くの学生が留年することなく卒業しています(02ページ参照)。しかし、勉強をしないで卒業できると考えるのは甘いですね。薬剤師国家試験合格後には、卒業生のほとんどが薬剤師として働きます。当然のことですが、人の命に関わる業務ですから、しっかりと知識・技能・態度を身に付けて卒業しなければなりません。そのために、薬学部では次のような関門を設けて各年次の所定科目を確実に履修し、きちんと卒業できるように指導しています。

- 1 各年次で所要単位を取得しなければ次の年次に進級できない。
- 2 同一学年に2年を超えて在学できない。

Q 6年制の薬学部を卒業したのち、研究者になれますか？

A もちろん、なれます。福岡大学は、大学院薬学研究科博士課程(修業年限4年)を設置していますので、6年制の薬学部卒業後、この大学院博士課程に進学して、これを修了すれば「博士(薬学)」の学位が与えられ、研究者への道が開かれます(12ページ参照)。他大学・他学部の大学院に進学することも可能です(09ページ参照)。

薬学共用試験について

Q 「薬学共用試験」の目的は？

A 薬学共用試験センター(<http://www.phcat.or.jp>)が実施する試験です。6年制薬学教育では、薬剤師としての実践能力を学習するため、医療現場(薬局及び病院)での実務実習が行われます。薬学共用試験は、薬剤師資格を持たない薬学生に、この実務実習を行うに足る知識・技能・態度が備わっているか否かを調べる試験です。実務実習では、実際に調剤業務や服薬指導にあたる場合がありますので、それにふさわしい能力を備えているかどうかを事前に評価し、一定のレベルに到達していることが保証される必要があります。

Q 薬学共用試験とはどのような試験ですか？

A 薬学共用試験には、コンピュータを利用して薬剤師としての基本的知識を試験するCBT(Computer Based Testing)と、調剤業務や服薬指導等の技能・態度を試験するOSCE(Objective Structured Clinical Examination)の2つの試験で構成されており、どちらも合格した学生だけが実務実習に参加できます。これらの試験では、全国の受験生への公平・公正を期すため、薬学共用試験センターから派遣されるモニター員が試験に立ち会うこととされています。さらにOSCEでは、薬局や病院勤務の薬剤師などが大学外の評価者として試験に参加します。

なお、福岡大学では、4年次の必修科目である特別講義6科目と実務実習事前学習で薬学共用試験対策をしています。また、薬学教育支援センター(08ページ)のサポートによる学修支援体制も整っています。

Q 薬学共用試験を受けるのは、いつですか？

A 5年次で実務実習に参加する前に、薬学共用試験に合格しなければなりません。そのため、4年次の後期に薬学共用試験を受けます。福岡大学の場合、CBTもOSCEも、おおむね12月〜1月に本試験、2月に再試験を実施しています。

実務実習について

Q 実務実習とは何ですか？

A 6年制の薬学教育カリキュラムでは、医療人としての倫理・教養、課題発見能力・問題解決能力、そして臨床実践能力を身に付けるためのカリキュラムの充実が図られ、薬局・病院における長期実務実習が義務化されています。薬学実務実習の在り方・目標は、「薬剤師として求められる基本的な資質」の習得です。実習は、それまで薬学部で学んできた知識・技能・態度を基に臨床現場で「基本的な資質」の習得を目指し実践的な臨床対応能力を身に付ける参加・体験型学習です。

4年次に大学での実務実習事前学習を終えた後、5年次に実務実習として薬局で11週間、その後、病院で11週間、合わせて5カ月間の実習に参加します。4年次の2月下旬から5年次の2月中旬までの1年間を4期に分け、連続する2期分を使って実習します。実務実習に参加していない期間は、大学で卒業研究を遂行します。

Q 実務実習を受けるために、大学または帰省先から非常に遠い医療機関まで通わなければならないのでしょうか？

A 福岡大学には福岡大学病院と福岡大学筑紫病院があり、半数以上の学生がそこで病院実習を受けることになります。それ以外の学生は、自宅近くの病院で病院実習を受けることになります。また、帰省先近くの病院で病院実習を受ける学生もいます。薬局実習は大学近くの福岡市薬剤師会薬局や民間薬局あるいは自宅や帰省先に近い薬局で受けることになります。いずれも病院・薬局実務実習地区調整機構を通じて、できるだけ交通手段等に困らないような施設で実習を受けられるように配慮しています。

Q 実務実習を受けるために、授業料等の学費とは別に費用が徴収されるのでしょうか？

A 福岡大学薬学部では徴収しません。学費の中に含まれています。



5カ月間の実務実習の流れ

4年次2月～5年次2月

薬局実習
地域における幅広い薬剤師業務について体験し、11週間コミュニケーション能力や問題解決能力を養います。

病院実習
チーム医療などの医療現場における薬剤師の役割を体得するとともに、11週間臨床に係る実践能力を養います。



大学院 薬学研究科

2024年度

入学者選抜概要

福岡大学入試情報サイト



■ 研究科長からのメッセージ

薬学研究科は、健康薬科学専攻と薬学専攻から構成されています。

修士課程である健康薬科学専攻では、薬学研究科の開設以来、培われてきた創薬科学に基づく教育・研究指導力を活かして、医薬品に留まらず高機能性食品、化粧品、環境対応素材や臨床検査製品など健康科学分野で活躍できる研究者・技術者を養成します。また、旧4年制薬学部卒業の薬剤師に対して高度化する医療の情報・知識を総合的かつ効率的に習得する教育研究環境を提供することで、薬剤師としての資質向上を図っています。薬学部以外の学部卒業生にも広く門戸を開いています。修了後は修士(薬学)の学位を授与します。

博士課程である薬学専攻では、国民の健康増進に向けた生物学的基本原理の解明や革新的医薬品の創製・難病克服・医薬品の安全使用など薬学に関する強い社会的要請に応えることのできる薬剤師・薬学研究者を育成します。この専攻においては、基礎研究から臨床研究まで常に疾患を意識して研究を推進します。創薬科学を追究する基礎研究者を養成することはもちろんのこと、薬学の専門家として医師と対等に疾患に立ち向かうことのできるワンランク上の薬剤師養成を行います。本博士課程は、あくまで医療系薬学領域での研究を中核としますが、基礎薬学を包含する総合的な学術としての薬学を大学院プログラムとして実施していますので、薬剤師免許非取得者も入学可能です。従来の博士課程における一人の指導教員あるいは一研究室(講座)による専修教育だけでなく、他分野の教員による広い視野での多面的で幅広い教育を実施しています。6年制学部あるいは修士課程修了の学生に広く門戸を開いています。修了後は博士(薬学)の学位を授与します。

薬学研究科長 岩崎 克典

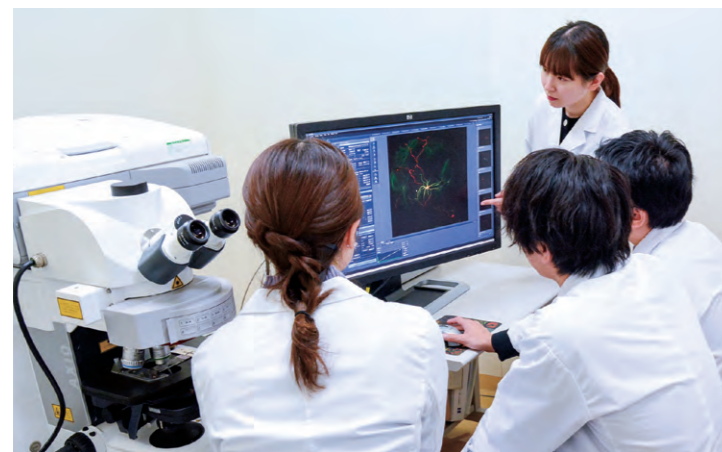
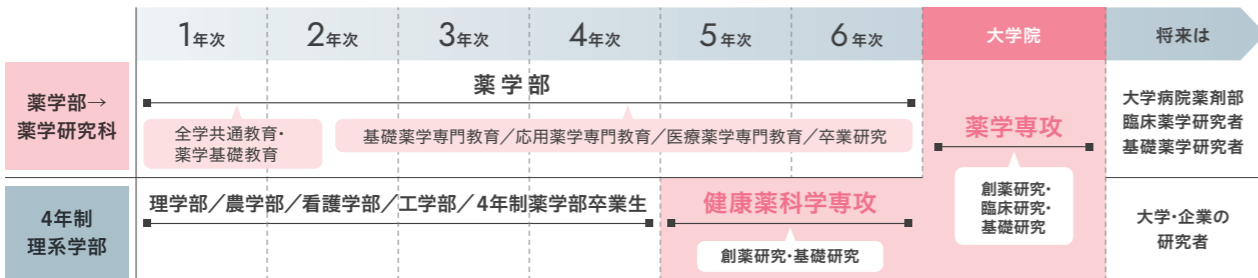
■ 課程の紹介

健康薬科学専攻 [修士課程]

2010年度に、新たな独立専攻型大学院として開設されました。本専攻は、健康創薬科学プログラムと総合薬学プログラムの2プログラムで構成されています。健康創薬科学プログラムは、学術的な健康科学領域において活躍できる健康科学関連研究者・技術者、創薬科学関連研究者・技術者、医薬品情報担当者、健康食品・化粧品等安全管理者等の人材を輩出することを目標としています。総合薬学プログラムは、臨床現場の薬剤師が主たる対象者であり、最先端医学・薬学を体系的かつ系統的に講義および演習で修得し、課題研究活動を通じて情報収集・評価能力を培い、先導的薬剤師として地域に密着した医療貢献ができるようになることを目指しています。

薬学専攻 [博士課程]

6年制薬学部を基礎とする4年制大学院として2012年に開設されました。本専攻は、医療薬剤師プログラムおよび薬学研究者プログラムの2プログラムで構成されています。医療薬剤師プログラムは、個別化医療推進薬剤師、医療系薬学研究者、医療行政推進薬剤師、トランスレーショナルリサーチ推進研究者・技術開発者、レギュラトリーサイエンス研究者等の人材育成を目標としています。薬学研究者プログラムは、創薬研究・薬物治療の最適化などに従事する医療系薬学研究者、基礎系薬学研究者、環境衛生化学等研究者・行政担当者、製薬企業研究開発従事者等の人材育成を目標としています。



薬学研究科は「薬学に関する学術の理論および応用を教授・研究し、その深奥を究めて、広く医療の進展に寄与する」という理念の下、高度な医療を担う薬剤師、薬学の将来を担う研究者および指導的な人材の育成を目的としています。

■ 福岡大学大学院薬学研究科出身者の活躍状況

- | | |
|---|--|
| <p>国公立大学院薬学部</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡大学病院薬学部 福岡大学筑紫病院薬学部 山口大学医学部附属病院薬学部 愛媛大学医学部附属病院薬学部 九州大学病院薬学部 佐賀大学医学部附属病院薬学部 長崎大学病院薬学部 熊本大学病院薬学部 大分大学医学部附属病院薬学部 宮崎大学医学部附属病院薬学部 鹿児島大学病院薬学部 産業医科大学病院薬学部 久留米大学病院薬学部 その他 | <ul style="list-style-type: none"> 帝京平成大学薬学部 鈴鹿医療科学大学薬学部 摂南大学薬学部 武庫川女子大学薬学部 就実大学薬学部 松山大学薬学部 第一薬科大学薬学部 国際医療福祉大学福岡薬学部 長崎国際大学薬学部 崇城大学薬学部 九州保健福祉大学薬学部 長崎大学医学部 産業医科大学 その他 |
| <p>国公立大学教員</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡大学 九州大学薬学部 岡山大学薬学部 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部 | <p>製薬企業など、主任研究員</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩野義製薬 武田薬品工業 ツムラ 大鵬薬品工業 その他 |

個別試験を課す制度

※内容が変更になる場合がございます。詳細は、必ず入学試験要項でご確認ください。

試験区分	主な出願資格	選考方法	試験内容および方法	出題範囲	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日	試験地
学校推薦型選抜	附属校	高等学校にお問い合わせください。							
	指定校	高等学校にお問い合わせください。							
	A方式	●学力試験 ●面接 ●書類(面接の参考資料)	●英語、数学、理科(化学)から2科目選択 ●個別面接	●英語(コミュニケーション英語I・II・III、英語表現I・II) ●数学(数学I・II、数学A・B) ●化学(化学基礎、化学*2)	11月1日(水)~11月9日(木)	11月26日(日)	12月8日(金)	入学申込金締切 12月20日(水) 入学手続締切 3月8日(金)	福岡大学
	系統別日程	●高等学校を卒業した者、および令和6年3月卒業見込みの者 ●全体の学習成績の状況についての基準はなし ※他大学との併願が可能	●英語、数学、理科(物理・化学・生物)から1科目選択の3科目必須 ●一度の受験で、医学部(医学科・看護学科)との併願が可能*1	●英語(コミュニケーション英語I・II・III、英語表現I・II) ●数学(数学I・II、数学A・B) ●物理(物理基礎、物理) ●化学(化学基礎、化学) ●生物(生物基礎、生物)	12月21日(木)~1月12日(金)	2月2日(金)	2月22日(木)	入学申込金締切 2月29日(木) 入学手続締切 3月8日(金)	福岡大学 各地会場(東京、名古屋、大阪、広島、山口、高松、松山、北九州、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、那覇) 2月3日、2月5日 福岡大学 各地会場(広島、山口、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島) 2月11日 上記に加え、各地会場(東京、大阪、高松、松山、北九州、那覇)
一般選抜	前期日程	●学力試験	●英語、数学、理科(物理・化学・生物)から1科目選択の3科目必須	●英語(コミュニケーション英語I・II・III、英語表現I・II) ●数学(数学I・II、数学A・B) ●物理(物理基礎、物理) ●化学(化学基礎、化学) ●生物(生物基礎、生物)	12月21日(木)~1月12日(金)	2月3日(土) 2月11日(日) [2回実施]	2月22日(木)	入学手続締切 3月8日(金)	福岡大学 各地会場(東京、名古屋、大阪、広島、山口、高松、松山、北九州、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、那覇)
	前期日程(理科重視型)	●英語、理科(物理・化学・生物)から2科目選択の3科目必須	●英語、理科(物理・化学・生物)から2科目選択の3科目必須	●英語(コミュニケーション英語I・II・III、英語表現I・II) ●数学(数学I・II、数学A・B) ●物理(物理基礎、物理) ●化学(化学基礎、化学) ●生物(生物基礎、生物)	12月21日(木)~1月12日(金)	2月5日(月)	2月22日(木)	入学手続締切 3月8日(金)	福岡大学 各地会場(東京、名古屋、大阪、広島、山口、高松、松山、北九州、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、那覇)
	後期日程	●英語、理科(化学)の2科目必須	●英語、理科(化学)の2科目必須	●英語(コミュニケーション英語I・II・III、英語表現I・II) ●数学(数学I・II、数学A・B) ●物理(物理基礎、物理) ●化学(化学基礎、化学) ●生物(生物基礎、生物)	2月15日(木)~2月26日(月)	3月7日(木)	3月16日(土)	入学手続締切 3月22日(金)	福岡大学 各地会場(広島、鹿児島)

*1 医学部を併願する場合、個別学力試験の科目が追加・制限されます。医学部を併願する場合、試験地が福岡大学と一部の各地会場(東京、名古屋、大阪)に限定されます。

*2 学校推薦型選抜(A方式)の化学の出題範囲は「物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質と利用、有機化合物の性質と利用」となります。

大学入学共通テストの得点を利用する制度

※内容が変更になる場合がございます。詳細は、必ず入学試験要項でご確認ください。

試験区分	出願基準	選考方法	試験内容および方法	出題範囲	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日	試験地
前期日程・共通テスト併用型	● 本学の一般選抜「前期日程*」を受験した者 ● 「令和6年度大学入学共通テスト」において、本学が指定する教科・科目を受験した者	● 本学の一般選抜「前期日程*」の指定科目の成績および「大学入学共通テスト」の指定科目の成績により判定 ● 個別試験は課さない	一般選抜「前期日程」	上の表を参照	12月21日(木)~1月12日(金)	前期日程 2月3日(土) もしくは 2月11日(日)	2月22日(木)	入学申込金締切 2月29日(木) 入学手続締切 3月8日(金)	一般選抜「前期日程」の試験地
			大学入学共通テスト	● 必須科目: 数学(I-AまたはII-Bから1科目選択)、理科(物理・化学・生物)から1科目選択 [選択科目] 英語または国語		前期日程 1月13日(土)・14日(日)			
			● 必須科目: 数学(I-AまたはII-Bから1科目選択)、理科(物理・化学・生物)から1科目選択 [選択科目] 英語または国語	入学手続締切 3月8日(金)					
共通テスト利用型(I期)	● 「大学入学共通テスト」の指定科目の成績により判定	● 「大学入学共通テスト」の指定科目の成績により判定	[必須科目] 英語、国語、数学(I-A)、数学(II-B)、理科(化学)の5科目必須 [選択科目] 理科(物理・生物)から1科目選択	● 英語(リーディング、リスニング) ● 国語(近代以降の文章) ● 数学I・A ● 数学II-B ● 物理 ● 化学 ● 生物	12月21日(木)~1月19日(金)	大学入学共通テスト 1月13日(土)・14日(日)	一次合格発表 3月5日(火)	入学手続締切 3月22日(金)	福岡大学 (二次試験のみ)
共通テスト利用型(II期)	● 「令和6年度大学入学共通テスト」において、本学が指定する教科・科目を受験した者	● 「大学入学共通テスト」の指定科目の成績により一次判定 ● 面接(提出書類を活用)により二次判定	[必須科目] 理科(物理・化学・生物)の第1解答科目 [選択科目] 英語、国語、数学(I-A)、数学(II-B)、理科(物理・化学・生物)の第2解答科目から2科目	個別面接 (一次合格者のみ二次試験)	2月15日(木)~2月26日(月)	二次試験 3月11日(月) (一次合格者のみ)	3月16日(土)	入学手続締切 3月22日(金)	福岡大学 (二次試験のみ)

* 理科重視型を除く。

募集人数・競争率

※内容が変更になる場合がございます。詳細は、必ず入学試験要項でご確認ください。

入学定員	募集人数(2023年度入学者選抜における競争率*)								
	学校推薦型選抜		一般選抜						
	A方式	系統別日程	前期日程	前期日程(理科重視型)	前期日程・共通テスト併用型	共通テスト利用型(I期)	共通テスト利用型(II期)	共通テスト利用型(III期)	後期日程
230	25(2.7)	15(3.3)	90(3.2)	15(2.4)	7(3.9)	7(3.7)	7(3.9)	3(新設)	7(3.6)

* (志願者数)÷(合格者数)として算出。